

ケミカルピーリング 施術説明・同意書

サリチル酸（角質を溶かす強い作用を持っている酸）をマクロゴール（肌を保護する働きがある基材）に溶かすことによって、肌への負担を少なく、より高いピーリング効果が得られる治療です。にきび肌やニキビ跡、肌のごわつき、毛穴の開き、毛穴詰まりの改善が期待でき、お肌全体のトーンアップ効果がございます。

▼効果の持続時間等には年齢や肌質などによって個人差がありますが、4週間に1回程度のペースでの継続した施術をお勧めいたします。

▼治療中、多少ピリピリ感を感じることがあります。治療後、一時的な肌の赤みや乾燥、ひりつき、かゆみ、水泡形成やむくみ、一時的なニキビの悪化などをおこす場合がございます。肌トラブルが持続する場合はクリニックにご連絡ください。診察は診察代がかかる場合がございますのでご了承ください。

▼乾燥しやすいので、いつもよりこまめに保湿をし、施術部位を強く擦ることは避けてください。

▼妊娠中・授乳中、アスピリン喘息の方、日焼けをしている方、感染性の皮膚炎にかかられている方は施術をお断りしております。

▼日焼け・日焼けする予定がある方、ヘルペス、敏感肌の方、てんかんを持病にお持ちの方、近日中に施術部位の手術を受けた方は施術を受けられない可能性がありますので必ず事前にお申し出ください。

▼剥離作用のあるにきび治療薬、各種ピーリング剤、トレチノイン・レチノール等を使用されている場合は、施術後3日間程度は使用を中止して下さい。

▼施術前後の数日は顔そりを避けてください。翌日（約12時間後）からは、通常通り、洗顔とスキンケア、メイクが可能です。ただし、洗顔やスキンケアで肌を強く擦ると新生される角質を痛めてしまうので優しくお手入れしてください。

▼日焼け対策（直射日光を避け、遮光クリームを使用）はきちんと行ってください。

私は上記治療について説明を受け内容理解し、自分自身の意思で施術を同意します。

ステロイドの内服をされているお客様へ

現在または一定期間内にステロイド薬（例：プレドニゾロン、デキサメタゾンなど）を内服している、または、ステロイドの湿布・外用薬（例：プレドニゾロン、デキサメタゾンなど）を使用している場合、当クリニックでは安全性の観点から、光・レーザー等を用いた施術を行うことができません。

そのため、私は、上記ステロイド製剤を使用停止してから2週間が経過していることを申告いたします。

ステロイド薬の内服および外用（湿布・塗り薬）は、以下のような理由により、美容医療におけるレーザー・光治療などの施術において重大なリスクを伴う可能性があることを理解しています。

- ・肌のバリア機能の低下による過敏反応のリスク
- ・色素沈着・白斑・熱傷などの副反応のリスク増加
- ・創傷治癒遅延による肌トラブルの長期化
- ・免疫抑制状態による予期せぬ反応の可能性
- ・ステロイド外用部位への施術による局所的な炎症や色素異常のリスク

なお、今後、ステロイドの使用を中止した場合でも、施術の可否については医師の判断に従い、必要に応じて一定の経過観察期間を設けることがあることを理解・承諾いたします。

年 月 日 氏名

ZX-CLINIC